

取扱説明書(機種別)

電力監視ユニット(汎用 CT 入力)

WJF-PA□

このたびは、電力監視ユニット(汎用CT入力)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご希望通りの仕様であるかラベルの記載内容をお確かめください。本品は、厳重な品質管理基準に基づいて製造、検査されております。万一、輸送中の破損などで不都合がありましたら、弊社またはお買い上げの販売店までご連絡ください。

この取扱説明書では機種ごとの使用方法を説明しています。この他に下記取扱説明書と合わせてご利用ください。

- ・WJM□取扱説明書
- ・SNVTs取扱説明書(WJM□)
- ・ジョイントモジュール総合取扱説明書

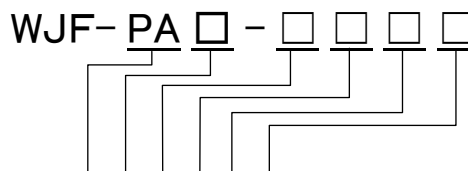
ご使用にあたって

ご使用前にWJM□取扱説明書の 1 ページにある「WJM□ 使用上の注意」を必ずお読み下さい。
本器単体でのご使用は出来ません。必ずWJMシリーズに接続してご使用ください。

概 要

本器は電力監視を行うジョイントモジュール専用のユニットです。

仕 様



シ リ ー ズ	タ イ プ	入 力 仕 様	機 能	オ プ シ ョ ン	検 査 成 績 書 番	内 容
WJF						ジョイントモジュール機能ユニット
	PA					電力監視ユニット(汎用CT入力)
		2				単相3線/三相3線 2入力
		34				三相4線 1入力
			X			なし
				N		なし
					0	なし
					1	付き
					00	標準

入力信号	AC110/220V、AC1/5A(45～65Hz) ※三相4線は相間電圧が AC110/220V 相電圧は $110 \div \sqrt{3} / 220 \div \sqrt{3} V$ です。
許容過大入力	電圧:120%連続、150%10 秒間 電流:120%連続、200%10 秒間、1000%3 秒間
許容差	電流、電圧: $\pm 1\%fs$ 有効電力: $\pm 1.5\%fs$ ($\cos \phi = -0.5 \sim 1 \sim +0.5$) 無効電力: $\pm 1.5\%fs$ ($\cos \phi = -0.866 \sim -1, +0.866 \sim +1$) 有効電力量: $\pm 2\%fs$ ($\cos \phi = 1$) $\pm 2.5\%fs$ ($\cos \phi = 0.5$) 無効電力量: $\pm 2.5\%fs$ ($\cos \phi = 0, 0.866$) 力率: $\pm 3\%fs$ ($\cos \phi = -0.5 \sim 1 \sim +0.5$) 周波数: 定格 $\pm 1\%$
シャットダウン	電流: 定格 0.8%以下 電圧: 定格 10%以下 有効電力/無効電力: 定格 $-0.4 \sim 0.4\%$ 有効電力量: 受電時の電力のみ積算 定格の 0.4%未満の場合積算しない 無効電力量: 位相が $0 \sim 90^\circ$ 又は力率 $0 \sim 0.05$ の範囲で積算 定格の 0.4%未満の場合積算しない 周波数: 44.2Hz 以下、65.8Hz 以上
周囲温度の影響	$\pm 0.01\%fs/^\circ C$
アイソレーション	入力端子-ユニット間コネクタ間 電圧入力端子-電流入力端子間 電流入力端子間(CH間絶縁)

モジュールの設定

モジュールの通信及び各種設定は、当社の蓄積設定ツール及び米国エシロン社製のLonMaker for Windowsにより行います。モジュール単体での設定は出来ません。

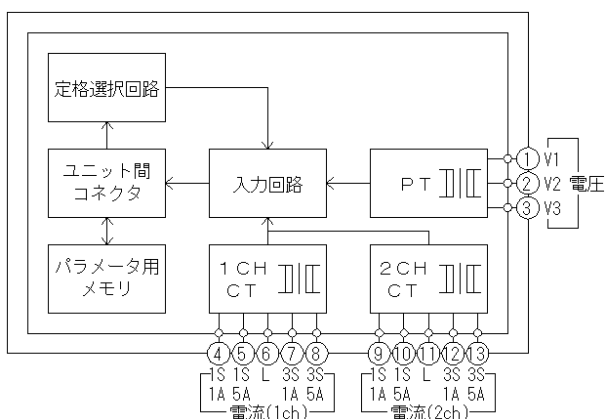
詳細は、蓄積設定ツール取扱説明書、SNVTs取扱説明書をご覧ください。

⚠注意

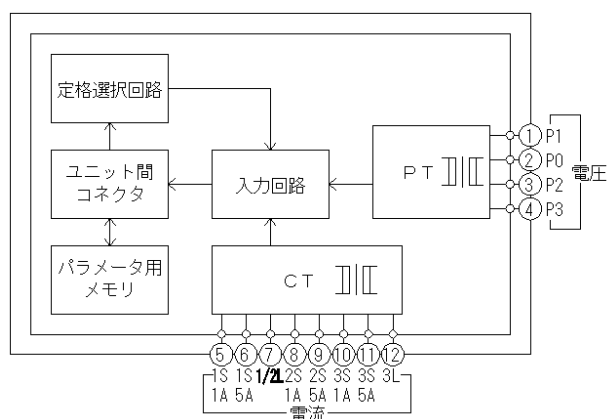
モジュールの電源投入後、SNVTsを送信するまでにモジュールのアドレスに基づいたディレイ(スタートアップディレイ)が設けられております。このディレイ中にSNVTsを読み出すと0データを応答しますので積算データの差分計算を行う際はご注意ください。
(スタートアップディレイの詳細についてはSNVTs取扱説明書「電源投入時のネットワーク変数の送信」をご覧ください)

回路ブロック図

WJF-PA2

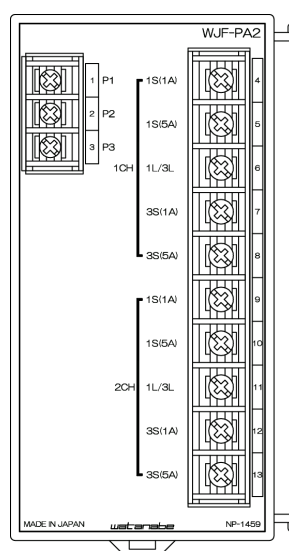


WJF-PA34



端子配列

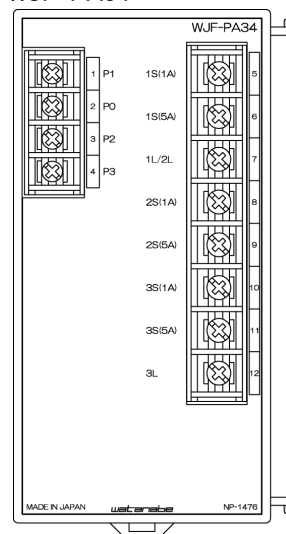
WJF-PA2



No.	P A 2		内 容
	記 号		
1	P1	R(1)	R(1)相電圧
2	P2	S(N)	S(N)相電圧
3	P3	T(2)	T(2)相電圧
4	1S(1A)	K	R(1)相電流 (1ch-1A)
5	1S(5A)	K	R(1)相電流 (1ch-5A)
6	1L/3L	l	1ch L
7	3S(1A)	k	T(2)相電流 (1ch-1A)
8	3S(5A)	k	T(2)相電流 (1ch-5A)
9	1S(1A)	k	R(1)相電流 (2ch-1A)
10	1S(5A)	k	R(1)相電流 (2ch-5A)
11	1L/3L	l	2ch L
12	3S(1A)	k	T(2)相電流 (2ch-1A)
13	3S(5A)	k	T(2)相電流 (2ch-5A)

電圧入力端子：M3 ネジ
電流入力端子：M4 ネジ

WJF-PA34



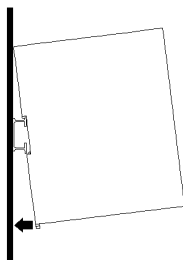
No.	P A 3 4		内 容
	記 号		
1	P1	R	R相電圧
2	P0	N	N相電圧
3	P2	S	S相電圧
4	P3	T	T相電圧
5	1S(1A)	K	R相電流 (1A)
6	1S(5A)	K	R相電流 (5A)
7	1L/2L	l	R/S相電流 L
8	2S(1A)	K	S相電流 (1A)
9	2S(5A)	k	S相電流 (5A)
10	3S(1A)	k	T相電流 (1A)
11	3S(5A)	k	T相電流 (5A)
12	3L	l	T相電流 L

電圧入力端子：M3 ネジ
電流入力端子：M4 ネジ

D I N レールへの着脱

1. 取付け

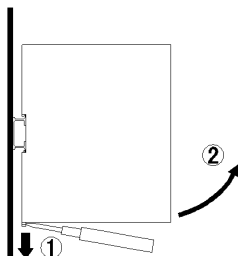
- ① 白色のスライダーが下側になるように取付けます。裏面のフックをレールにかけ、矢印の方向にカチッと音がするまで押して下さい。



2. 取りはずし

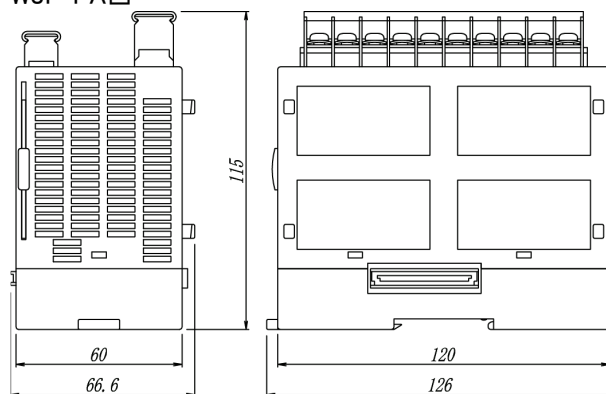
- ① 本体の電源を切ってください。

- ② 白色のスライダーの溝にドライバーを差し込んで①の矢印の方向にカチッと音がするまで下げて、本体を②の矢印の方向に引くと外れます。



外形図

WJF-PA□



その他の注意事項

1. 設置

- ・使用温度が-5～55℃の範囲を越えない場所に設置してください。
- ・使用周囲湿度が 90%以下で、結露しない場所に設置してください。
- ・塵埃、金属粉などの多い場所に設置する場合、放熱対策を施した防塵設計の筐体に収納してください。
- ・振動、衝撃は故障の原因になります。極力避けてください。

2. 配線

- ・信号ラインは、ノイズの発生源、リレーの駆動ラインの近くに配線しないでください。
- ・本器は **1 台のトランスの負荷のみ** 計測できます。PA2 では 2 回路計測できますが、**異なるトランスの負荷を計測する事はできません。**

本器は電源投入と同時に使用可能ですが、すべての性能を満足するには 30 分間の通電が必要です。

配線例はジョイントモジュール総合取扱説明書及び工事要項を参照してください。

保証

本製品の保証期間は納入後 1 年間です。この期間内にカタログと本取扱説明書および別刷りのジョイントモジュール総合取扱説明書に定めてある条件で使用中に故障が生じた場合、弊社またはお買い上げいただいた販売店までご連絡ください。無償修理または新品交換させていただきます。また、故障修理をご依頼される場合、必ず不具合の内容を具体的にお知らせください。

なお製品を分解、改造されたり、カタログと本取扱説明書および別刷りのジョイントモジュール総合取扱説明書に定めた条件以外でご使用された場合の保証はご容赦いただきます。